

ここは私の好きな風景の一つです。今までに何度も、いろいろな季節に画にしています。先日通りかかった時には、稲の穂が花をつけ、地蔵堂の脇には百日紅（サルズベリ）の花が満開でした。そして遠くに低山が見えます。稲穂の上には、数え切れないほどのトンボが飛んでいました。

実に日本の里山を代表するような、里山の風景です。私が作曲家か作詞家なら、この風景を見て童謡を創れそうな気がします。秋には稲が刈られ、たくさんの「はさかけ」が掛かります。その頃もう一度訪ねたいと思っています。

(2023年8月中旬／高崎市倉渕)

